

サイエンス・プロジェクトⅢ（3年理型・文型クラス） 最終成果発表会

1 目的

大学での学びと社会課題に関する研究成果を、文理の枠を越えて発表し共有していくことで、進路選択における自分の意見・考えを整理し、キャリア設定における新たな視点・考え方を学ぶ。

2 概要

高校3年間の課題研究の集大成として、グループで学問分野別探究活動を行い、文理各クラスの代表班による最終成果発表会を行った。

(1) 対象

【発表】3年2組～7組 各クラス代表班
【聴講】3年2組～7組生徒・本校職員

(2) 会場

翠巒会館ホール

(3) 日程

令和6年7月3日（水）6限
15時15分～ 開会
15時18分～ 課題研究成果発表・質疑応答
16時00分～ 閉会 ※評価・コメント入力

(4) 方法

プレゼンテーション4分、質疑応答2分、入れ替え1分（合計7分）

(5) 発表テーマ

クラス	代表班研究分野
3-2（理）	生物学
3-5（文）	経済学・経営学・商学
3-3（理）	薬学
3-6（文）	史学・文化人類学
3-4（理）	情報工学・データサイエンス学
3-7（文）	法律学・政治学

<プレゼンテーション項目>

- ① オープニング
- ② 分野概要
- ③ その分野の魅力
- ④ その分野を取り巻く社会課題
- ⑤ 興味関心
- ⑥ 自己と学問の関わり

(6) 評価

聴衆はルーブリックに基づいて評価を行う。

「自己探究」課題研究 発表ルーブリック		発表テーマ			
		評価者	4桁番号： 氏名：		
【発表チェックリスト】					
①スライドは「1スライド1メッセージ」を意識し、シンプルに作られている。					
②原稿を読まずにプレゼンができています。					
③スライドではなく、発表者が主体的にプレゼンができています。					
		チェック			
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
プレゼン内容	項目	評価基準			
		1：★	2：★★	3：★★★	4：★★★★
1 オープニング	① OP	努力が必要	目標に一部到達	目標に到達	目標以上に到達
		オープニングが意識されていない。	オープニングは意識されているが、テーマにあまり興味が持てない。	テーマについて興味を持ってオープニングができています。	多くの人の興味を引きつけるオープニングができています。
2 研究分野の理解	② 分野概要	研究分野について、理解しておらず、説明ができていない。	研究分野について具体例を挙げているが、個別事例の紹介に留まり、説明にまとまりがない。	研究分野について複数の具体例を挙げながら、体系的に説明している。	3に加えて、研究分野の時代的な変遷と今後の展望について説明している。
		研究分野の魅力について、言及していない。	研究分野の魅力について、具体的な紹介に留まり、その意義や可能性について説明できていない。	研究分野の魅力について、具体例を挙げながら、その意義や可能性について説明している。	3に加えて、説明の際に学術資料や客観性の高い資料を用いている。
	③ 分野の魅力	研究分野の魅力について、言及していない。	研究分野の魅力について、具体的な紹介に留まり、その意義や可能性について説明できていない。	研究分野の魅力について、具体例を挙げながら、その意義や可能性について説明している。	3に加えて、説明の際に学術資料や客観性の高い資料を用いている。
	④ 分野を取り巻く社会課題	分野を取り巻く社会課題が言及していない。	分野を取り巻く社会課題に言及しているが、断片的な紹介に留まり、発表者の課題意識が感じられない。	分野を取り巻く社会課題に言及しており、その分野や学問を修める目的・意義が明らかである。	3に加えて、説明の際に学術資料や客観性の高い資料を用いている。
3 大学進学 の目的・意義	⑤ 興味関心	大学で学びたいことについて言及していない。	大学で学びたいことについて言及しているが、その意義・目的が明確である。	大学で学びたいことについて言及しており、その意義・目的が明確である。	大学で学びたいことについて具体例を挙げて説明しており、その意義・目的が明確である。
		⑥ 自己と学問の関わり	どのような資質・能力を身に付けたいか、明らかにしていない。	どのような資質・能力を身に付けたいか言及しているが、その意義について説明していない。	どのような資質・能力を身に付けたいか言及しており、その意義について説明ができています。

